

# 今年是新築住宅建設増に期待

建設業者の体験内覧会に300人 金利の引き下げとエコポイントを追い風に



大勢の市民が訪れた新築住宅の体験内覧会

の。新築、中古住宅で耐震性、耐久性、バリアフリー性、省エネルギー性など5つある基準の中で1つ以上を満たすことが条件。

この長期優良住宅や北方型住宅Ecoの建設を行っている株式会社北菱の北菱ハウスII市内桂木町1番17号IIは、1月9日から2月7日までの土、日曜日にかけて、同住宅の体験内覧会を行った。

同ハウスでは、当初は少なかったが最後の日には80人が訪れた。期間中300人を超え、予想以上の見学者でした。市内の新築住宅建築数はかつてない落ち込みが続いていたが、当社は昨年からの回復してきている。今年も長期優良住宅など積極的に取り組んでいき

住宅金融支援機構は「優良住宅取得支援制度」フラット35Sについて、年内の申し込み者を対象に当初10年間の金利を1・0%引き下げると発表した。この金利優遇措置を受けてか、富良野市内の建設業者が1月上旬から2月上旬にかけて実施した「長期優良住宅」体験内覧会に300人を超える住民が訪れ、マイホーム取得に向けて強い関心を示した。

市内の新築新築確認申請件数は昨年、ピーク時のわずか4分の1まで落ち込んだ。それだけに同業者では「この金利優遇とエコポイントが追い風となつて、今年は少し上向きになるかもしれない」と期待をかけている。

この金利引き下げに伴い、仮に金利2・85%で3000万円を35年間借入した場合、支払い総額は約4359万円。金利優遇のない通常のフラット35と比べ、約385万円低くなり、これに1棟当たり最大30万円のポイント還元を併せると400万円以上も割安となる。富良野市は、市独自の「同支援機構の優良住宅取得支援制度」フラット35Sは、「明日の安心と成長のための緊急経済対策」に基づく2次補正予算によるも

たい」と話し、金利優遇とエコポイント還元によって、入受注が増えることに期待を寄せている。入受注が、下